

福井・丹南NEWS 2021秋号

～芸術の秋！ここでしかできないモノづくり体験と自然・食の魅力～

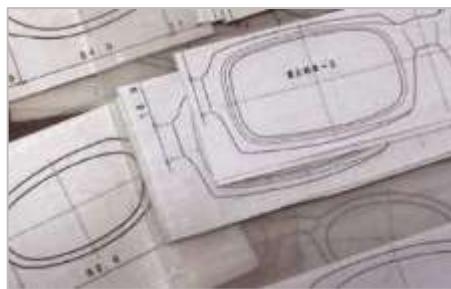
福井県の中央部に位置する鯖江市・越前市・池田町・南越前町・越前町の5市町は「丹南エリア」と呼ばれ、豊かな自然と伝統工芸が集中した魅力的な地域です。そんな丹南エリアでしかできない伝統工芸体験や自然、食といった旬の魅力をお届けします。2024年春の北陸新幹線延伸に向けておもてなしの準備を進める丹南エリア、ここだけの体験をぜひお楽しみください。

オリジナルフレームめがねづくり

約70種類ものフレームデザインと約500種類もの素材から選び、世界に一つのオリジナル眼鏡づくりに挑戦できます。

【体験料金】30,800円（製作・材料費・配送料含む）

【場所】鯖江市・めがねミュージアム



越前焼ぐい呑みづくり&地酒セット

手ひねりまたは玉つくりの手法で2つのぐいのみを作ります。7種類の釉薬から好きな色を選んで焼き上げれば世界にひとつだけのぐいのみが完成！約40日後で出来上がった作品は、越前町にある丹生酒造の地酒とともにお届けします。

【体験料金】4,800円（商品発送代別途）

【場所】越前町・福井県陶芸館



バターナイフorアイススプーンづくり体験

刃物を製造している作業場で、気軽に鍛冶仕事の疑似体験ができます。手槌（ハンマー）でアルミ棒をたたき、オリジナルのバターナイフorアイススプーンを作れます。キーホルダーにする事も可能！

【体験料金】2,000円

【場所】越前氏・RYUSEN FACTORY&STORE



予約・詳細はこちら

じゃらん丹南エリア特集ページを公開しました！

<https://www.jalan.net/jalan/doc/news/button/1266075401/>

日本最大級メガジップライン体験

地上高60mのケーブル滑車で森の空中散歩へ。鳥の目線のような絶景を体験！

【体験料金】

3,700円

【場所】

池田町・
ツリーピクニックアド
ベンチャーいけだ



若手花農家と花畑探索

移住して就農した若手花農家さんと、季節にあわせた花農家の日常を体験！

【体験料金】

3,000円

【場所】

南越前町
上野のビニール
ハウス



『日常に触れる旅』 マイ包丁をつくろう！木工と打刃物の里縦断トライアルツアー

2024年春の北陸新幹線延伸に向けて、『日常に触れる旅』と題して、福井県丹南エリアのローカルトライアルツアーを開催しています。今回は、**1日かけてマイ包丁をつくるツアー**の様子をご紹介します。包丁の柄の部分で池田町の木工体験施設で作り、越前市の鍛冶屋さんで包丁にするという、市町を横断してのものづくり体験。包丁をまるまる1本つくるといって体験型の中でもかなり上級者向け！



まず最初に訪れたのは池田町の**ウッドラボいけだ**。池田町は面積の約9割を森林が占める町。現在「森の町」として、町をあげて町産材を活用した木製品の開発や木工業の振興に取り組みが始まっています。参加者のみなさんはここで包丁の柄の部分を作ります。



まずは木材選びから。今回用意されたのはケヤキ、ナラ、タモ、サクラの4種類。匂いを嗅いで真剣に材料を選びます。



続いてマイ柄を作ります。パターンは差し込み式とはめ込み式の2種類。随所でスタッフがサポートしてくれます。

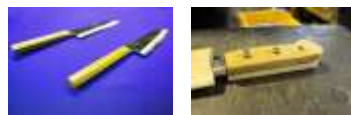
次に向かったのは、越前市の**龍泉刃物**。「越前打刃物」は越前市で700年の歴史を誇る伝統工芸です。ここでいよいよ刃と柄の仕上げを行い、包丁を完成させます。打刃物の職人さんがサポートして下さいます。



まずは、刃を研いで仕上げるとことから始めます。



最後の工程、柄を付けて完成です。差し込み式は、穴の調整から。はめ込み式は鉸で柄をとめます。



完成した包丁

産地や工場、受け継がれる生きた伝統工芸がある丹南エリアだからこそこの体験ツアー。ぜひ福井で「マイ包丁」を作ってみては。

【訪れたスポット】

◎ ウッドラボいけだ <https://ikeda-kibou100.jp/project/woodlabo/>

◎ 龍泉刃物 <https://ryusen-hamono.com/>

ツアーの詳細はこちら

<https://www.reallocal.jp/87975>

丹南エリアってこんなトコ！

丹南エリアは、福井県の中央部に位置する鯖江市・越前市・池田町・南越前町・越前町の5市町で構成され、**5つの国指定伝統的工芸品**が近接している、全国でも稀なエリアです。そんな丹南エリアでしかできない様々なモノづくり体験のほか、海・山・川がすべて揃った自然豊かなエリアならではのアクティビティも盛りだくさんです。

構成市町



■ 5つの国指定伝統的工芸品

越前和紙



越前和紙の歴史は古く、奈良時代には仏教に必要な写経用紙を漉いていました。今も新しい時代が求める紙を開発し千五百年の伝統をかたく守り続けています。

越前焼



越前焼は日本六古窯の一つに数えられます。素朴で頑丈な造り、温かみのある土と灰釉の味わいを秘めた民芸的な美しさが特徴です。

越前打刃物



越前打刃物は、1337年京都の刀匠が今の越前市に来住し、近郷の農民のために鎌を作ったことから始まったといわれています。日本古来の火づくり鍛造技術・手仕上げを守りながら作り続けられています。

越前漆器



越前漆器の始まりは6世紀にまで遡ると伝えられています。堅牢な下地づくりに塗重ねた光沢と優雅なつくりには定評があり、時代のニーズに合わせたものづくりがされています。

越前箆筒



ケヤキやキリなどの無垢材を独自の指物技術で組手加工し、鉄製の飾り金具には「猪目」というハート型のくり抜きが施されています。

こちらも注目！
シェア日本一

めがね



鯖江市といえば、「めがね」。眼鏡枠では全国シェア90%を超える産地の中心地。

「地味にすごい、福井」 ～2024年春 北陸新幹線福井・敦賀開業！～

北陸新幹線は2024年春、金沢～敦賀間が開業。東京～福井間が**直通3時間以内**で繋がります。これまで以上に首都圏からのアクセスが向上します。丹南エリアへは、南越駅（仮称）をご利用いただくと便利です。福井には古き良き伝統、文化、風土が数多く残っており、失われつつある日本の原風景が息づく素朴でありのままの福井の姿にこそ、大きな価値があります。「地味にすごい、福井」をぜひ体感してください。



W7系